

陽光小学校地域協議会

生活科の「農園活動」に対する支援

- 学校敷地内にある陽光農園で、地域協議会の委員や街の先生の協力のもと、地域の大人が小学生に、また小学生が保育園児に大根収穫の仕方を教え、一緒に大根の収穫体験を行い、交流を図る農園活動が開催されました。
- 当日は、1・2年生が街の先生に大根収穫の手順やコツを説明してもらった後、地域の協力者に教えてもらうなど、ふれあいを持ちながら大根収穫を体験しました。さらにその後、園長が地域協議会の委員を務める保育園の園児を招いて、1・2年生が、教わった収穫のコツを園児達に教え、収穫を手伝い交流しました。
- 陽光小学校地域協議会では、陽光農園で季節に合わせて、ジャガイモやサツマイモ、大根を栽培・収穫しています。それぞれの野菜の種まき・手入れ・収穫の際には、地域の協力者が学校と調整をして、生活科や総合的な学習の時間に、子ども達に農作業を教える時間を設けています。また、収穫された野菜は持ち帰り、家族と食べたり、学校給食の食材として活用したりしています。この農園活動をとおして、地域の協力者と学校の教職員・児童・園児が年間をとおして交流を持ちながら、子ども達は野菜の育て方や、収穫の仕方について学ぶとともに、地域の大人との交流を深めています。



街の先生による収穫の説明



地域の方に教わりながら収穫体験



園児の収穫を手伝い

【学校の声】

陽光小学校は、昔から地域の方々非常に学校に協力的で、自慢の地域だと思っています。

学校農園を使った農園活動の準備や当日の指導・お手伝いはもちろん、学校からお願いをしなくても、日頃から、自発的に学校に足を運び、樹木剪定や落ち葉掃除などサポートをしてくれており、非常に助かっています。

【地域協議会の声】

この学校農園の活動は、自分達の先代の頃から始まり、30年以上続いています。

毎年活動に継続して参加することで、子ども達の成長を見守れることが楽しいし、子ども達とも顔なじみになり、あいさつをしてくれることが嬉しいです。子ども達の喜ぶ顔が、自分達の健康の秘訣ともなっています。今の若い世代を巻き込みながら活動を継続していくことが課題です。

これからも、自分達にできることがあれば、積極的に学校に協力をしていきたいです。

【いいね!】

- この農園活動は、世代交代をしながら、30年以上続いており、地域の大切な活動になっている。地域の方同士のつながりも広く、口コミで来校した“当日参加”の協力者も受け入れている。
- 地域協議会の委員の中に、保育園の関係者がいることから、保育園との交流が可能となり、異年令交流が実現できている。

